

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

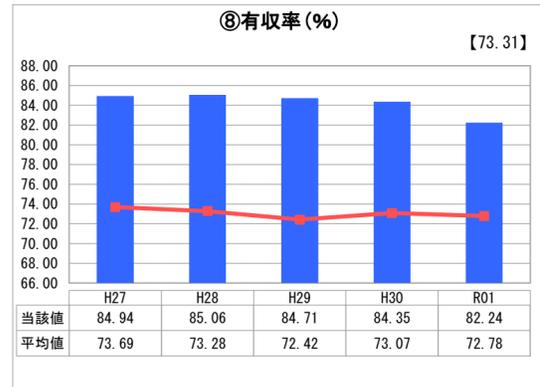
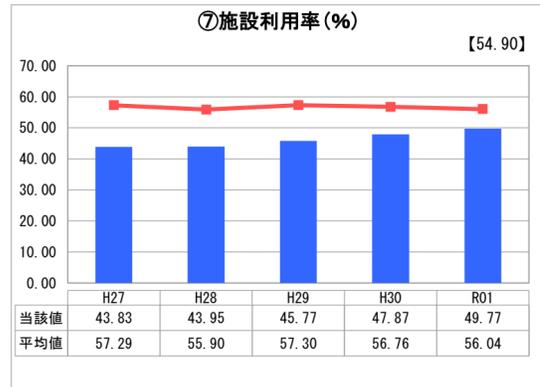
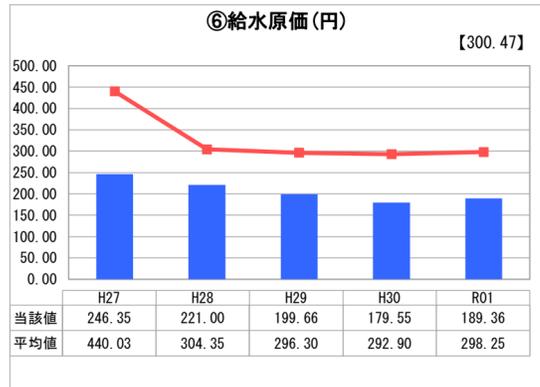
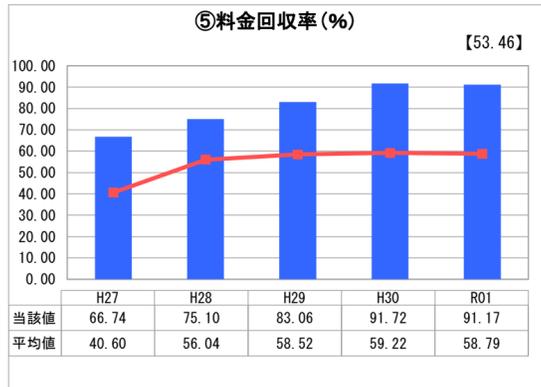
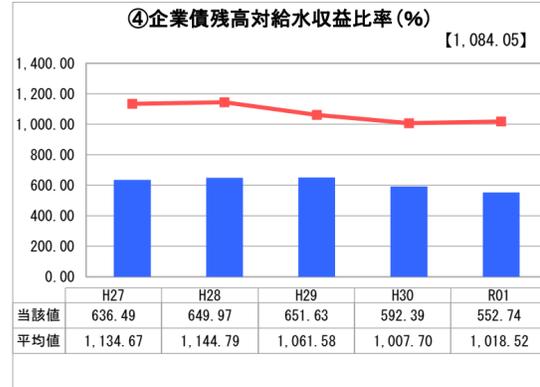
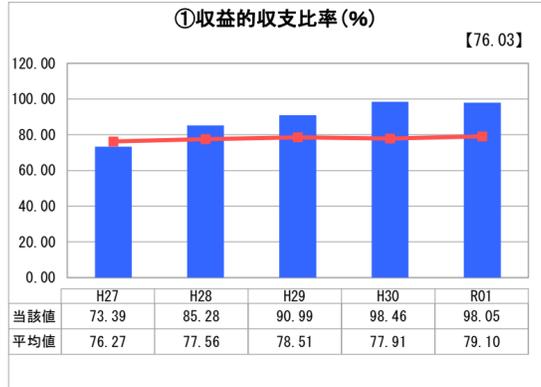
北海道 ニセコ町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	91.87	3,750	

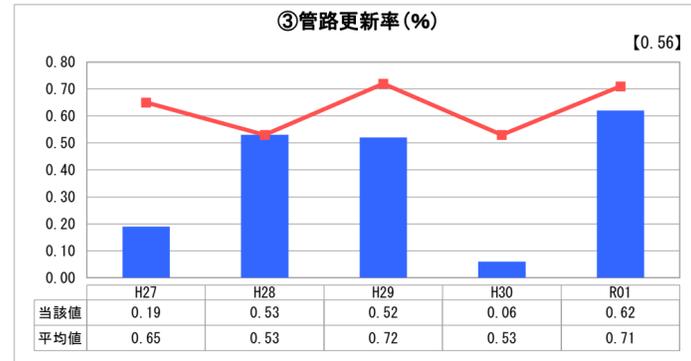
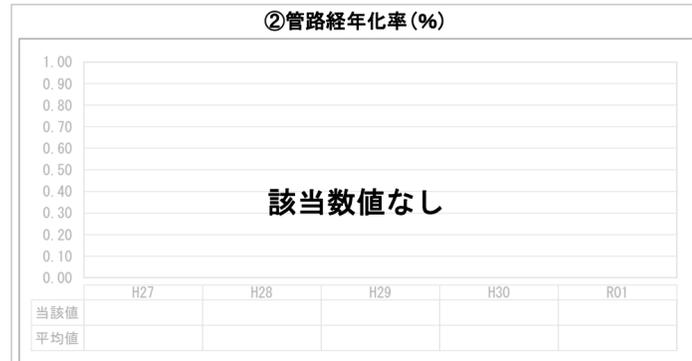
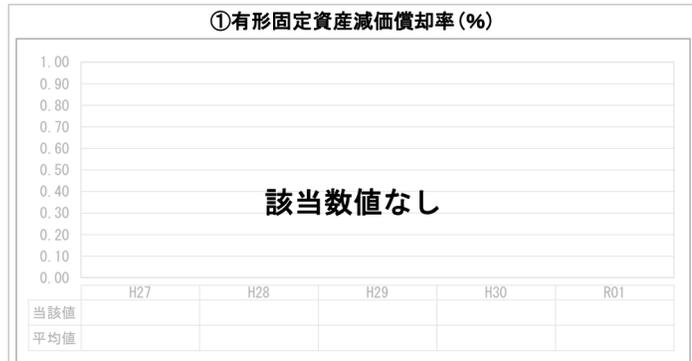
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
5,403	197.13	27.41
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,619	52.63	87.76

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[ ]	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

過去の新規水道整備等に係る起債償還が進み、企業債残高が着実に減ってきている。これにより今後も収益的収支比率の改善が進むものと考えられるが、簡水事業の規模・各種条件等も踏まえながら、可能な限り収支比率が100%に近づけられるよう経営改善の取り組みを進めていくことが求められる。

現状としては、類似団体や全国平均に比べ、料金回収率が高く、給水原価も低く抑えられているが、今後は管路・施設更新経費が増加すると予想されることから、引き続き経営動向について注視を要する。

近年の漏水対策により有収率は比較的高めに推移しており、経営の効率性向上が一定程度図られているものと考えられる。

施設利用率については平均値以下となっているが、国際観光リゾート地を有し、人口規模・施設規模に対する流入人口割合が極めて高く、さらに流入人口（観光客）の季節変動も極めて大きいことも加味する必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

今後の更新にあたっては、耐震化や重要管路の選定等のほか、資金面や更新手法など総合的な検討も随時行いながら実施していく。

令和元年度以降も引き続き老朽化した配水管の更新等を実施し、その後も一定規模の事業費を確保（事業平準化）のうえ、優先順位の高いものから順次更新老朽化対策を進めていく予定である。

今後は配水管更新のほかに、老朽化による水源・浄水場・配水池の不具合が発生しており、改修または更新が必要となる事象がある。

## 全体総括

事業としての規模、諸条件（給水人口、人口密度、地理的条件など）を考慮しつつ、より一層の効率化の取り組みについて検討を進め、経営の健全性向上を図っていく。

令和元年12月分から水道料金の改定を行い、収入状況の改善を図っているが、今後も引き続き経営状況を見極め、水道料金の見直しや運営体制などについて、検討と実施を進めていく。